



# 野田村



# 津波

# 防災マップ

○この防災マップは、**津波の避難場所**を示すために作成したものです。

○過去に発生した津波の浸水区域や、今後、想定される津波の最大浸水想定区域等を示していますが、**ここに示された地区以外も被害を受ける可能性があります。**

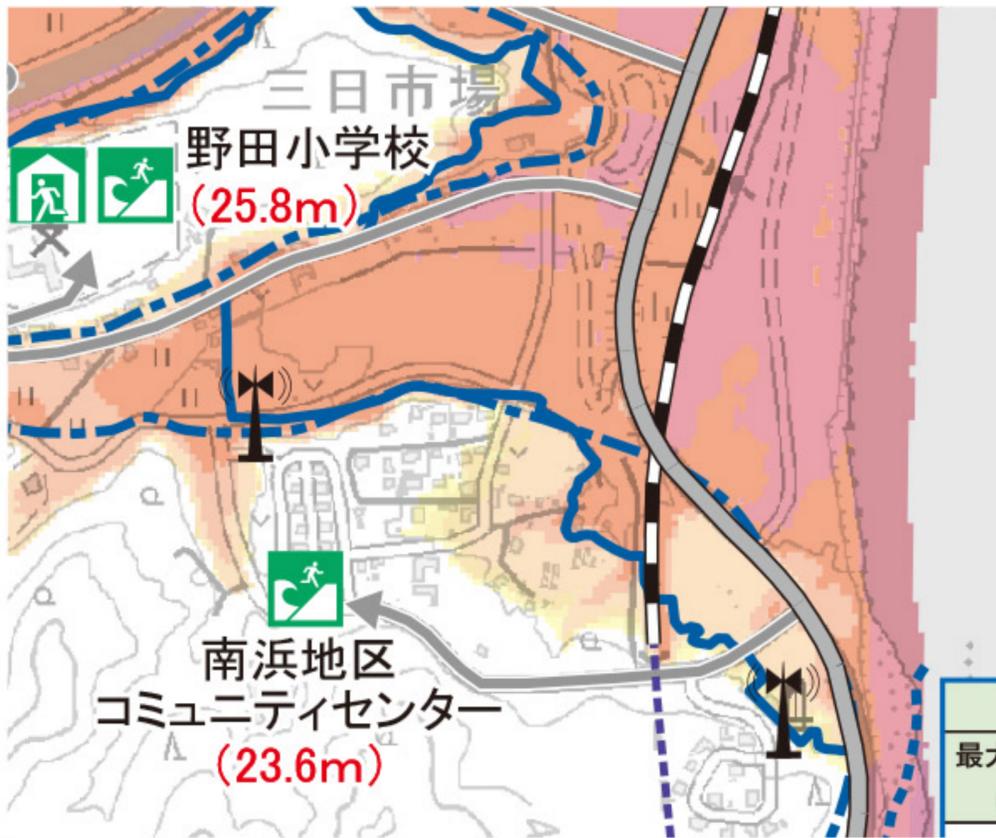
○この防災マップは、有事に備えて、**目立つ場所に置いてください。**

● 津波防災マップの見方	1	● 津波防災マップの位置図	7
● 避難情報のポイント	2	● 指定緊急避難場所・指定避難所	8
● 津波からの避難の心得	3	● 地区別拡大図1～5	9～16
● 津波発生のしくみと特徴	4	● 岩手県津波浸水想定図【野田村】	17・18
● 水門・陸閘自動閉鎖システム、久慈地方の過去津波	5	● 災害時の連絡方法	裏表紙
● 防災情報の伝達経路、非常時持ち出し品リスト	6		

# ● 津波防災マップの見方

## 津波防災マップの見方

必ず確認してください



### ● 凡例

- 指定緊急避難場所(津波) (標高〇〇m)
- 指定避難所
- 避難経路
- 防災行政無線

### 津波浸水区域(実績)

- 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)(2011年)  
※「東日本大震災津波被災市街地復興実態調査」、税務課資料より
- 昭和35年チリ地震(1960年)  
※「野田村津波防災マップ(平成9年)」より
- 明治三陸(1896年)、または昭和三陸地震(1933年)  
※「野田村津波防災マップ(平成9年)」より

### 津波浸水想定 最大浸水深

20.0m以上	1.0m以上 3.0m未満
10.0m以上20.0m未満	0.5m以上 1.0m未満
5.0m以上10.0m未満	0.3m以上 0.5m未満
3.0m以上 5.0m未満	0.01m以上0.3m未満

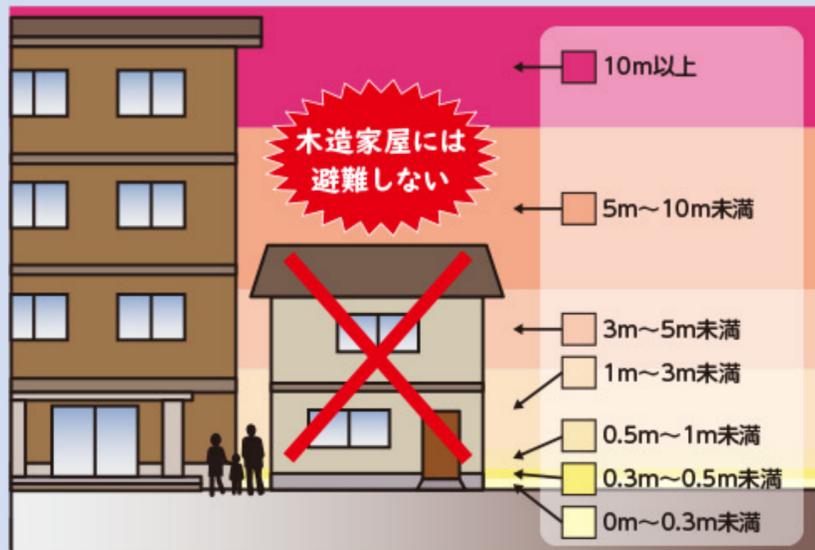
ハザードマップポータルサイト

検索



## 浸水深の見方について

## 津波の浸水深について



3階建ての建物 (あるいは3階部分まで) が完全に水没する

2階建ての建物 (あるいは2階部分まで) が水没する

3m程度から住家の流出、全壊が見られる

津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が亡くなる

避難行動がとれなく(動けなく)なる



津波が川を遡ったり、排水溝を逆流しマンホールや側溝から溢れ出ることもあります。海岸線から離れていても安全とは限りません。



日頃から家族で避難場所、避難経路、非常時の連絡方法などを決めておきましょう。



原則として、津波浸水想定区域外へ避難するようにしましょう。万が一、避難が遅れた場合には、保健センターや北区地区コミュニティセンターの屋上へ避難しましょう。

※緊急時に身を寄せる避難先は、村が指定する「指定緊急避難場所」や、安全な場所にある親戚・知人宅など様々です。普段からどこに避難するかを決めておきましょう。

※「指定緊急避難場所」は、地震・津波や土砂災害・洪水など災害の種類ごとに安全な場所が指定されています。

※災害が落ち着いた後に、自宅が被災し、帰宅できない場合には、しばらく避難生活を送ることになるため、「指定避難所」に移動しましょう。

# ● 避難情報のポイント

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置をもとに、沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。

## ●大津波警報・津波警報・津波注意報

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 <b>ただちに高台などの安全な場所へ避難してください。</b>
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 <b>ただちに高台などの安全な場所へ避難してください。</b>
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 <b>海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から避難してください。</b>

参考：気象庁HP (<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html>)



## ●避難情報

村は、大津波警報、津波警報または津波注意報が発表された時には、避難情報を発令いたします。避難情報が発令された場合には、直ちに指定緊急避難場所等の安全な場所へ避難してください。

避難情報の種類	発令基準
高齢者等避難	遠地地震に関する情報等で、津波の到来が予想される場合に発表
避難指示	① <b>津波注意報</b> が発表された場合 対象： 漁業従事者等海岸付近にいる方 (防潮堤より海側にいる人や海岸付近にいる人) ② <b>津波警報</b> もしくは <b>大津波警報</b> が発表された場合 対象： 次の沿岸17地区 中沢、港、下新山、中新山、上新山、北区、愛宕町、横町、門前小路、前田小路、本町、旭町、下泉沢、南浜、米田、玉川、下安家

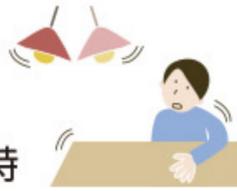
## ●津波警報・注意報と避難のポイント

- 震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。**強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始**しましょう。
- 津波の高さを「**巨大**」と**予想する大津波警報が発表**された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。**直ちにできる限りの避難**をしましょう。(30分以内)
- 津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。**ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難**しましょう。
- 津波は長い時間繰り返し襲ってきます。**津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続け**ましょう。

# 津波からの避難の心得

## ● 地震の発生

- ・大きな地震が発生した時
- ・ゆっくりとした揺れが長く続く時



## ● 海面の異変

- ・急な引き潮が起きた時



## ● 津波情報の発表

- ・テレビやラジオ、インターネットで津波情報などが発表された時



## ● 避難の呼びかけ

- ・防災行政無線、サイレン、防災メールやのんちゃんネットでの呼びかけがあった時



気づいたらすぐに避難！！

## できるだけ早く、少しでも高い場所に避難！

### ● 家で情報を待たず、まず避難する

- ・家でテレビを見るのではなく、避難しながら携帯ラジオで情報収集するか、安全なところに避難してから情報収集をすること。



### ● 引き潮がなくても津波は来る！

- ・津波は必ずしも引き潮から始まるものではなく、突然襲ってくることもあるので、油断せずただちに避難すること。



### ● 津波は繰り返し来るので決して戻らない！

- ・「家族を探す」「自宅へ戻る」といった行動は絶対にせず、注意報・警報が解除されるまでは避難した場所に留まること。



### ● 津波が見えてからでは逃げ切れない！

- ・津波はものすごいスピードで押し寄せてきます。海を見に行くことは絶対にせず、海と逆方向へとにかく避難すること。



### ● 原則として、避難は徒歩で！

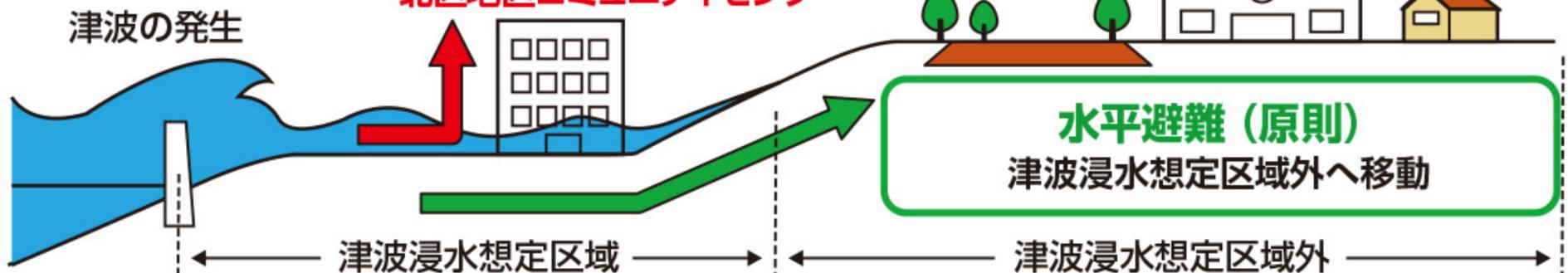
- ・自動車での避難は、渋滞や事故を引き起こしたり、緊急活動や他の避難行動の障害となるため、原則として徒歩で避難すること。ただし、自動車避難が必要な方は、必ず周りの状況を確認して自動車を利用できるかどうか判断し、緊急車両や避難行動の支障にならないよう避難してください。



## 垂直避難と水平避難

### 垂直避難（緊急） 逃げ遅れた場合

※保健センター  
北区地区コミュニティセンター



警報が解除された後、  
自宅が被災して帰れない場合

指定避難所 知人宅等

津波から身の安全  
を守る所に避難

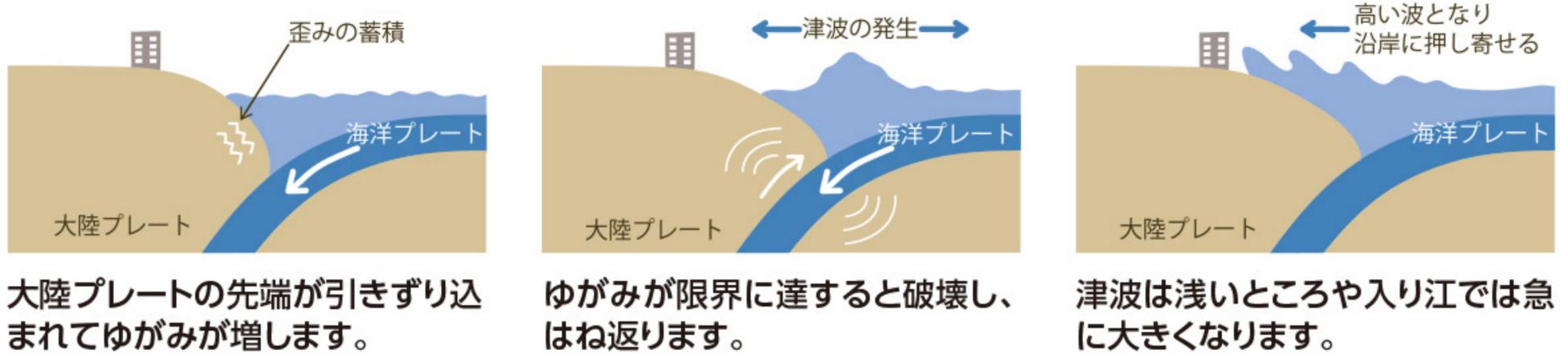
水平避難（原則）  
津波浸水想定区域外へ移動

※津波浸水想定区域外へ避難することを原則として、逃げ遅れた場合に限り保健センター、北区地区コミュニティセンターの屋上へ緊急避難してください。

# ● 津波発生のおくみと特徴

## ● 津波発生のおくみ

海底の下の浅いところで大きな地震が起こると断層の運動により海底の地盤が隆起したり沈降したりします。この海底の変形にともなう海面が変動し、あたかも池に石を投げ入れた時のように波となって四方に広がっていきます。

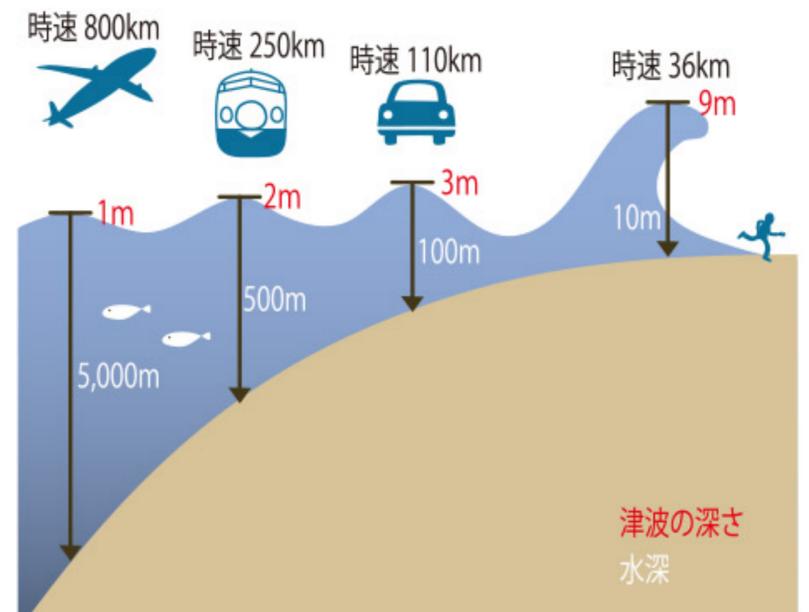


## ● 津波の早さは、深海ではジェット機並み

津波の伝わる速さは海の深さによって異なり、海が深いほど速くなります。沖合ではジェット機並みの速さで、陸に近づいてからも新幹線並みの速さです。

陸上に上がった場合は、時速 36km と人が全速力で走るほどの速さで襲ってくるため、海岸で津波が見えてから逃げることはほぼ不可能です。

海岸付近で強い揺れを感じた場合や、揺れは小さくとも長い時間ゆっくりした揺れを感じた場合は、直ちに海岸付近から離れましょう。



## ● 津波の高さは、地形で大きく変化する

津波の高さは海岸付近の地形で大きく変化しますので、津波が陸地を駆け上がったり（遡上という）、リアス式海岸のようにV字谷の特殊な地形の場所では局地的に高くなる場合がありますので、特に注意が必要です。

## ● 津波は前ぶれなく襲ってくる

「津波が来る前には潮が引くから、潮が引いたら逃げろ」とよく言われますが、これは間違いです。「引き（最初に潮が引く）」で始まるものと、「押し（いきなり襲ってくる）」で始まるものと両方あります。

## ● 津波は繰り返し襲ってくる

津波は繰り返し押し寄せて来ます。第1波より第2波以降の方が大きくなる場合があります。津波注意報や警報が解除されるまでは警戒が必要です。

# ● 水門・陸閘自動閉鎖システム

下記の水門・陸閘は、津波注意報等の発表後、**約5分**を経過すると自動で閉鎖が始まります。  
陸閘が閉まり始めたら、近くにある避難階段から避難してください。

施設名	所在地	マップ掲載頁	警報発表後 閉鎖開始までの待機時間
広内水門	野田村大字野田第37地割	9頁	5分
広内陸閘	野田村大字野田第37地割	9頁	
野田玉川水門	野田村大字玉川第3地割	10頁	
野田水門	野田村大字野田第36地割	12頁	
野田1号陸閘	野田村大字野田第36地割	12頁	
野田3号陸閘	野田村大字野田第36地割	12頁	
米田水門	野田村大字野田第9地割	14頁	
米田陸閘	野田村大字野田第9地割	14頁	



※広内陸閘は津波警報又は大津波警報で閉鎖します。  
(津波注意報では閉鎖しません。)

詳しく知りたい方はこちらから

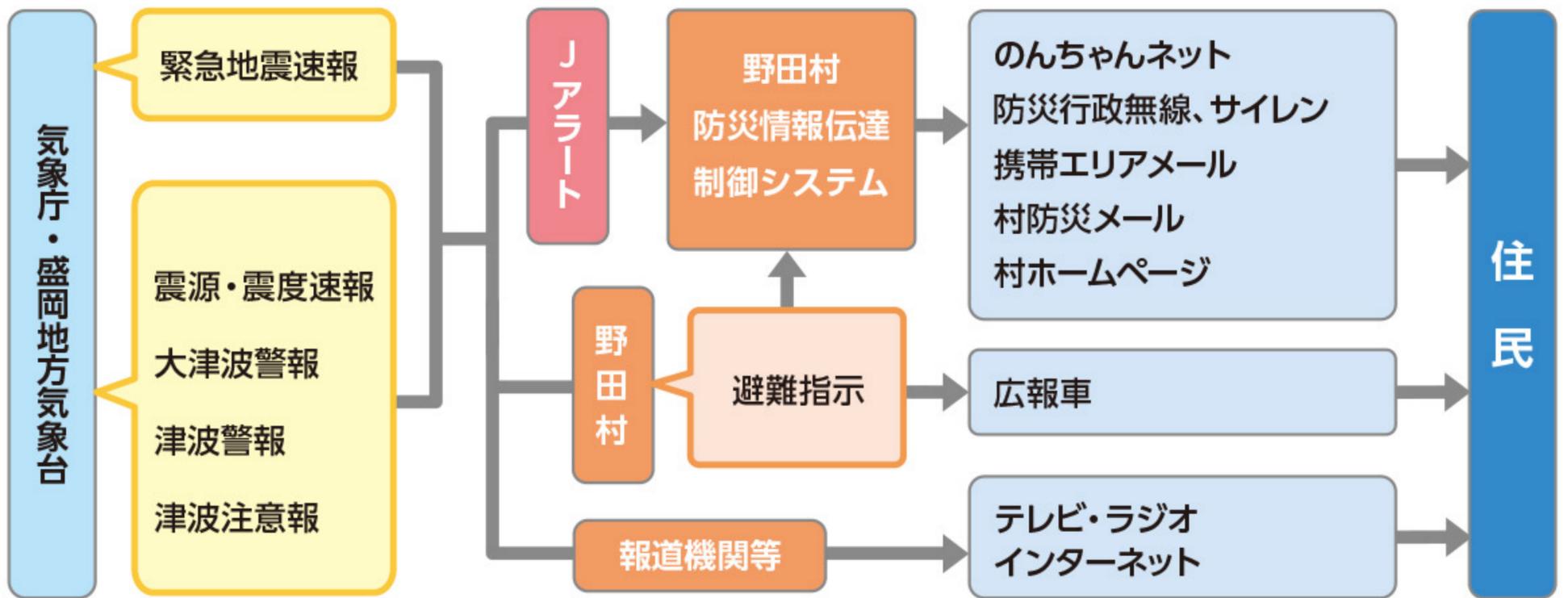


# ● 久慈地方を過去に襲った津波

	明治三陸地震津波	昭和三陸地震津波	チリ地震津波	十勝沖地震津波	東北地方太平洋沖地震津波 (東日本大震災)
地震発生日時	明治29年(1896年) 6月15日 午後7時32分頃	昭和8年(1933年) 3月3日 午前2時31分頃	昭和35年(1960年) 5月23日 午前4時10分頃	昭和43年(1968年) 5月16日 午前9時49分頃	平成23年(2011年) 3月11日 午後2時46分頃
地震の状況	午後7時32分、 5分間にわたる弱震 午後7時53分、弱震 午後8時2分、弱震	突然の非常に激しいゆれ 振動時間5分から10分と かなり長い強烈な水平動	遠地地震	突然の非常に激しい ゆれ	継続時間の長い非常に 激しいゆれ
震度	弱震	5程度	—	5	5弱
震源地	岩手県東方沖合 約180kmの海底	岩手県東方沖合 約200kmの海底	南米チリ中部沿岸 南緯38度、西緯72度	襟裳岬南南東 約120 kmの海底	三陸沖 北緯38.1度、東経142.9度
マグニチュード	6.8(8.2)	8.1	8.5	7.9	9.0
第1波の海面 変動(引潮) 開始時刻 及び状況	午後7時50分~8時頃 ある湾では1,000m以上 も海水が引いた	午前2時45分~50分前 後(推定)	久慈 24日午前4時5分頃 非常に大きな引潮	久慈 午前10時13分頃海岸 約150m沖に向かって 海底が現れる	宮古 午後3時1分、 124mmの引き潮
第1波 到達時刻	午後8時7分頃	午前3時頃(久慈)	久慈 24日午前4時20分頃	久慈 午前10時20分頃	野田港 午後3時31分(目視)
被害概要 (全体)	死者:26,360名 流出家屋:9,879戸	死者:2,995名 流出家屋:4,885戸	死者:105名 流出家屋:1,474戸	死者:49名	死者:15,880名 行方不明者:2,694名

# ● 防災情報の伝達経路

防災情報は、次のような経路で伝達されます。避難情報等を把握したら、速やかに避難してください。



防災メールの登録手順は  
こちらから



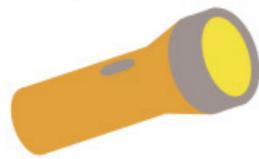
防災メール登録は  
こちらから



# ● 非常時持ち出し品リスト

## 【最低限必要なもの】

懐中電灯  
(予備電池)



携帯ラジオ  
(予備電池)



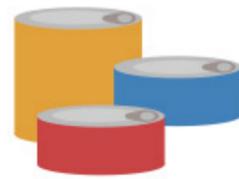
携帯電話(スマートフォン)、  
携帯バッテリー



飲み物  
(普段飲んでいるもの)



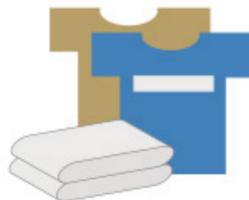
食料品



常備薬、救急医療品、  
お薬手帳



衣服 (上着、下着、靴下)  
タオル



現金、印鑑、預金通帳、  
マイナンバーカード、  
健康保険証、免許証、車や家の予備鍵



## 【できればあると良いもの】

防災ずきん、ヘルメット

ナイフ、缶切り

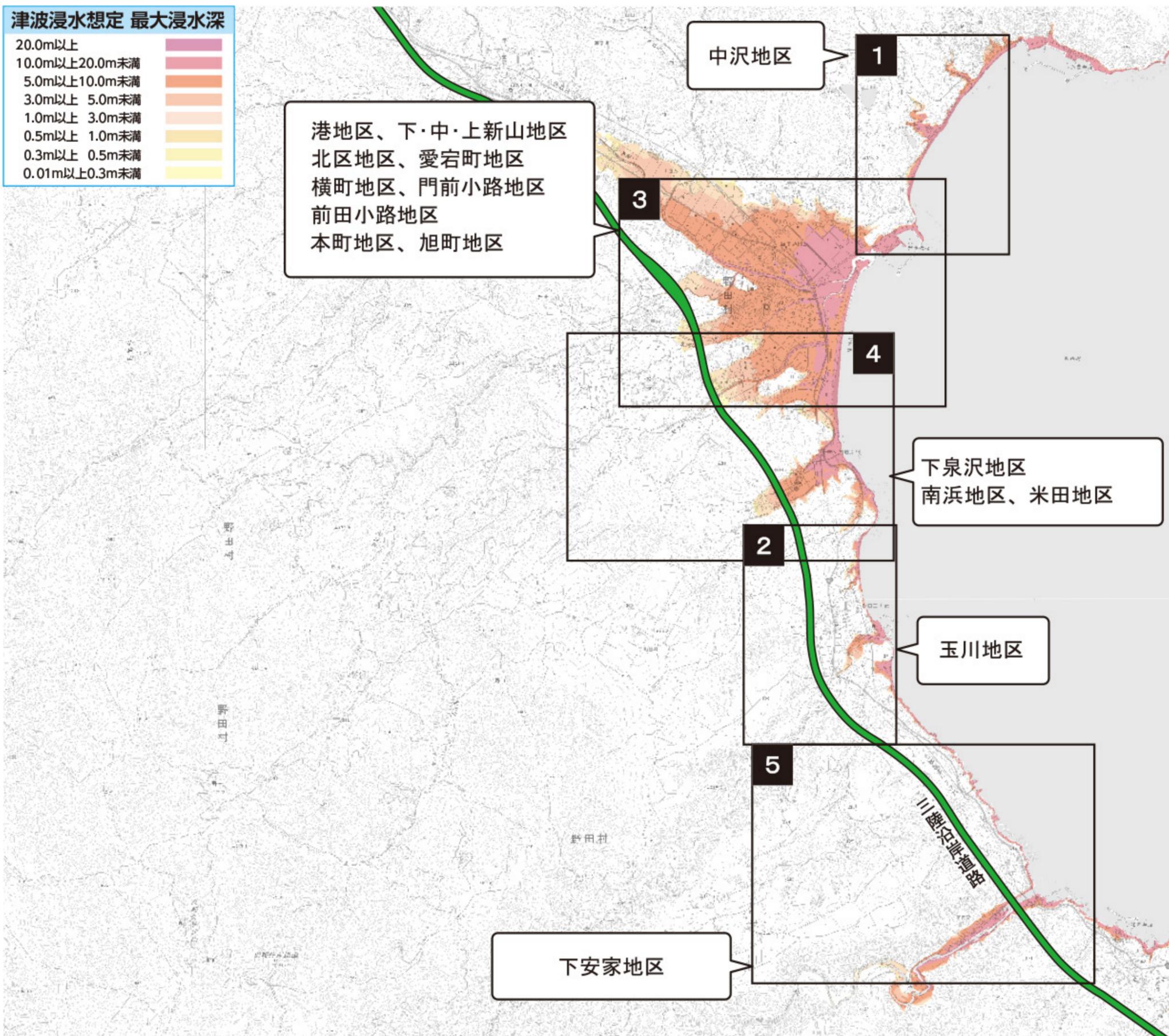
ウエットティッシュ

洗面用具、生理用品

家族の写真

乳幼児のいるご家庭  
粉ミルク、哺乳瓶、  
紙おむつ、離乳食

# ● 津波防災マップの位置図



## 津波防災マップについて

9 ページからは、最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水区域と浸水深及び過去の津波被害による浸水区域を表したものです。

※「津波浸水想定」の浸水区域や浸水深は、「人命を守る」という考えの下、津波防災地域づくりを進めるためのものであり、津波による災害の発生範囲を決定するものではありません。

※浸水区域以外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

「測量法に基づく国土地理院長承認（複製） R3JHf258」  
 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」  
 JIS Z 8210 [ 広域避難場所、避難所（建物）、津波避難ビル ]

# ● 指定緊急避難場所・指定避難所

## 指定緊急避難場所(地震・津波)

指定緊急避難場所	地区	指定緊急避難場所	地区
大道様宅前空地	中沢	南浜地区コミュニティセンター	南浜
御台場公園	港	米田地区集落センター	米田
旧新山保育所園庭	港、下・中・上新山、北区	野場平吉様宅裏畑	米田
消防団第2分団2部屯所前	港、下新山	玉川地区活性化センター	玉川
久慈工業高校グラウンド	北区、愛宕町、横町 門前小路、本町、旭町	野田ユースホステル跡	玉川
		玉川保育所園庭	玉川
愛宕山	愛宕町、横町、門前小路 本町、旭町	★国民宿舎えぼし荘駐車場	下安家
		防災広場	下安家
		沢口喜蔵様宅裏山	下安家
野田村保育所	横町、前田小路、下泉沢	深渡文吾様宅鳥居付近	下安家
★野田中学校	下泉沢、前田小路	保健センター(屋上)	※逃げ遅れた場合
城内地区浄水場跡地	門前小路	北区地区コミュニティセンター (屋上)	※逃げ遅れた場合
★野田小学校	下泉沢、南浜		

★は指定避難所も兼ねています

※上記の地区は、指定緊急避難場所までの距離を参考に例示したものとなります。

実際に避難する場合には、お住まいの地区にとらわれずに移動しやすい指定緊急避難場所等へ避難してください。

## 指定避難所(地震・津波)

施設名	住所
野田小学校	野田村大字野田12-61
野田中学校	野田村大字野田22-114-13
国民宿舎えぼし荘	野田村大字玉川2-62

※地震・津波、土砂災害・洪水で、指定緊急避難場所が異なる場合があります。

### 【指定緊急避難場所】

緊急に一時的に避難する高台や公園なども含めた場所で、地震に対しては耐震基準が満たされた避難場所です。

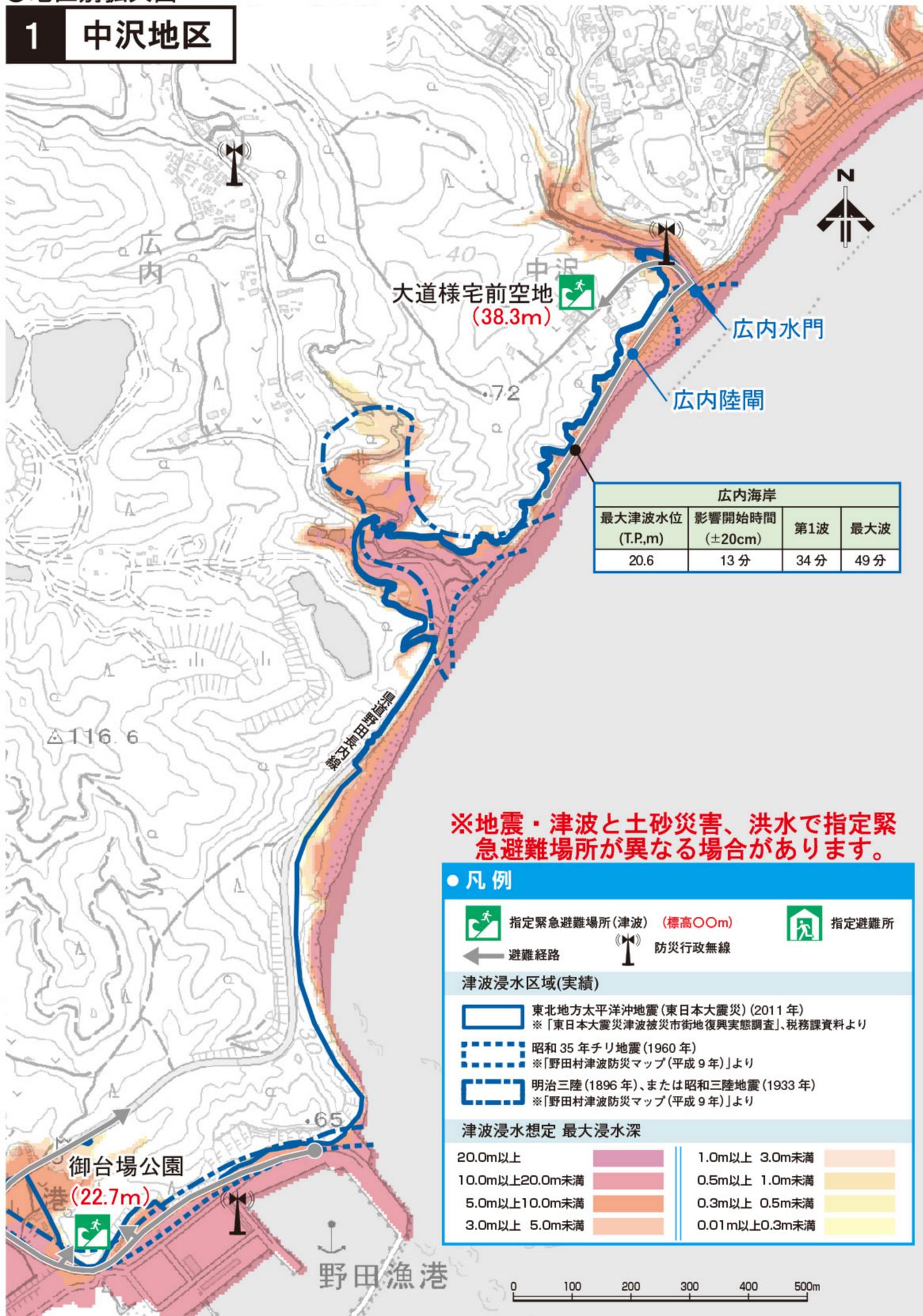
### 【指定避難所】

一定期間避難生活を送る場所で、相応の規模や複数の部屋があるなどの構造条件や物資等の輸送が円滑に行える場所として指定された避難所です。

※大規模な災害時には、緊急に避難した場所から災害が落ち着いた後に「指定避難所」に移動していただくことを基本とします。

※災害の状況や避難経路の安全性を確認しながら、最も安全な場所へ避難するようにしてください。

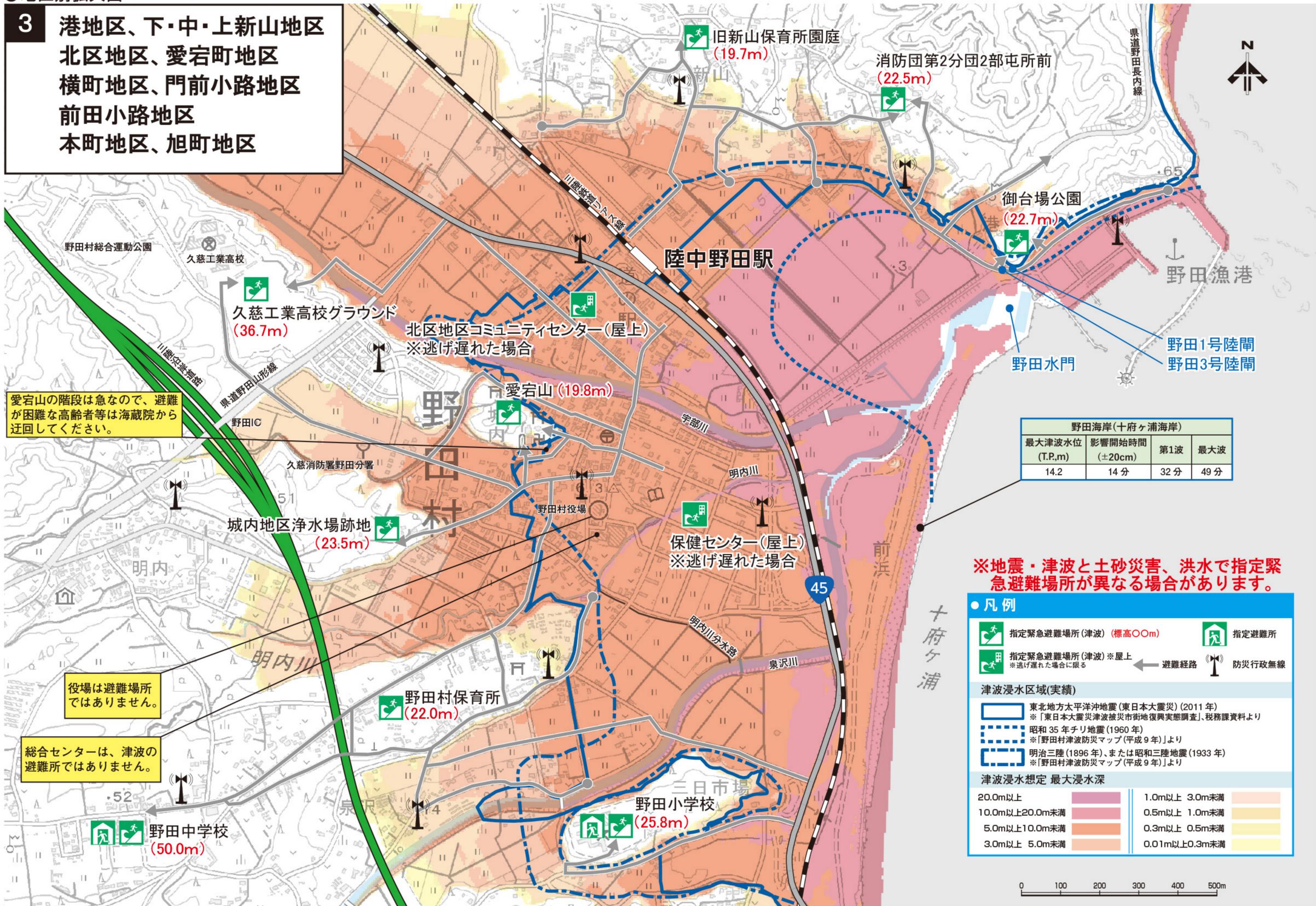
1 中沢地区



2 玉川地区



**3 港地区、下・中・上新山地区  
北区地区、愛宕町地区  
横町地区、門前小路地区  
前田小路地区  
本町地区、旭町地区**



愛宕山の階段は急なので、避難が困難な高齢者等は海蔵院から迂回してください。

役場は避難場所ではありません。

総合センターは、津波の避難所ではありません。

野田海岸(十府ヶ浦海岸)			
最大津波水位 (T.P,m)	影響開始時間 (±20cm)	第1波	最大波
14.2	14分	32分	49分

**※地震・津波と土砂災害、洪水で指定緊急避難場所が異なる場合があります。**

**●凡例**

- 指定緊急避難場所(津波) (標高〇〇m)
- 指定避難所
- 指定緊急避難場所(津波)※屋上 ※逃げ遅れた場合に限る
- 避難経路
- 防災行政無線

**津波浸水区域(実績)**

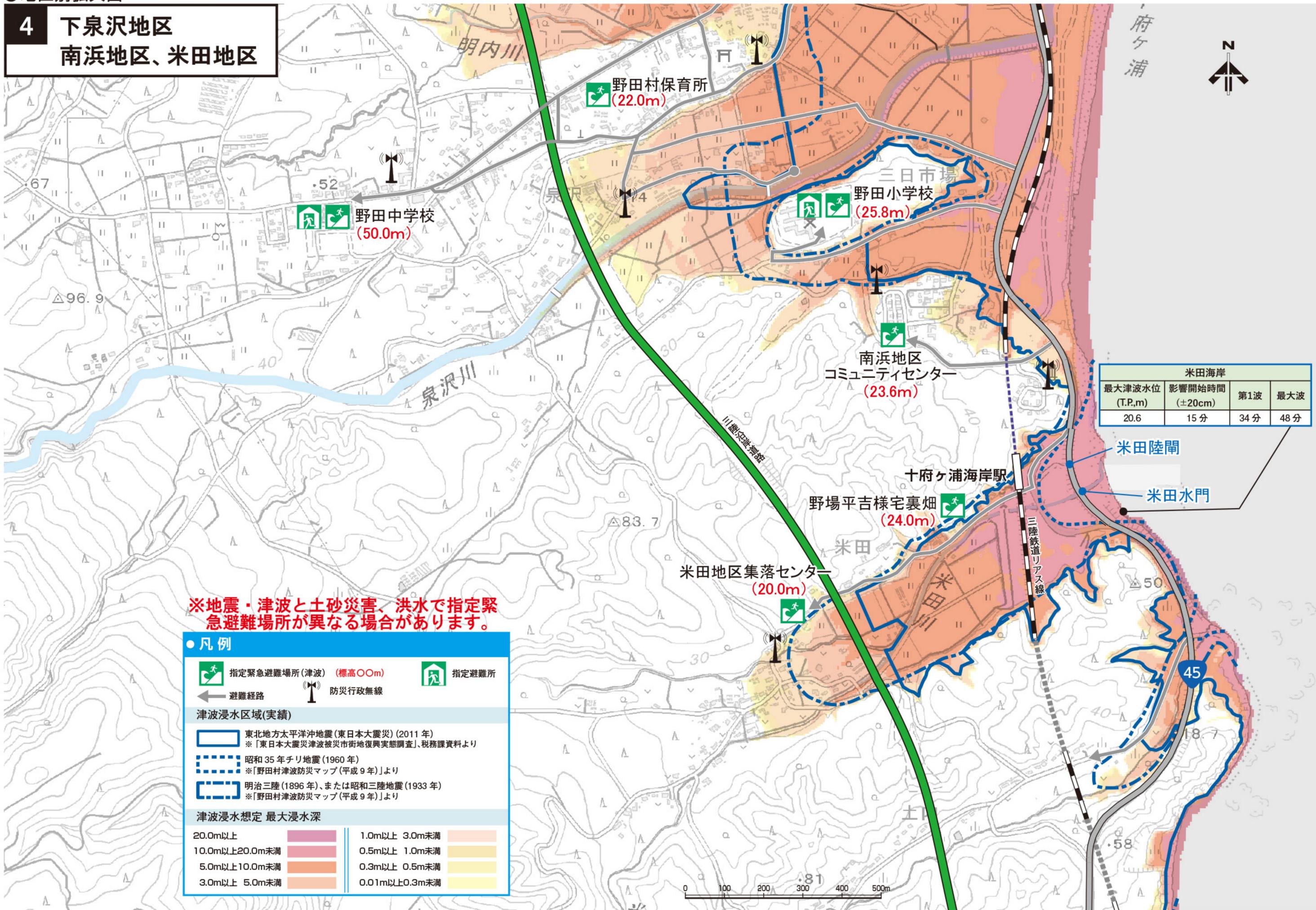
- 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)(2011年) ※「東日本大震災津波被災市街地復興実態調査」・税務課資料より
- 昭和35年チリ地震(1960年) ※「野田村津波防災マップ(平成9年)」より
- 明治三陸(1896年)、または昭和三陸地震(1933年) ※「野田村津波防災マップ(平成9年)」より

**津波浸水想定 最大浸水深**

20.0m以上	1.0m以上 3.0m未満
10.0m以上20.0m未満	0.5m以上 1.0m未満
5.0m以上10.0m未満	0.3m以上 0.5m未満
3.0m以上 5.0m未満	0.01m以上0.3m未満



4 下泉沢地区  
南浜地区、米田地区



※地震・津波と土砂災害、洪水で指定緊急避難場所が異なる場合があります。

● 凡例

- 指定緊急避難場所(津波) (標高〇〇m)
- 指定避難所
- 避難経路
- 防災行政無線

津波浸水区域(実績)

- 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)(2011年)  
※「東日本大震災津波被災市街地復興実態調査」, 税務課資料より
- 昭和35年チリ地震(1960年)  
※「野田村津波防災マップ(平成9年)」より
- 明治三陸(1896年), または昭和三陸地震(1933年)  
※「野田村津波防災マップ(平成9年)」より

津波浸水想定 最大浸水深

20.0m以上	1.0m以上 3.0m未満
10.0m以上20.0m未満	0.5m以上 1.0m未満
5.0m以上10.0m未満	0.3m以上 0.5m未満
3.0m以上 5.0m未満	0.01m以上0.3m未満

米田海岸			
最大津波水位 (T.P.m)	影響開始時間 (±20cm)	第1波	最大波
20.6	15分	34分	48分

米田陸閘  
米田水門



5 下安家地区



※避難後の生活を考慮し、国民宿舎えぼし荘へ避難してください。  
逃げ遅れた場合には他の指定緊急避難場所へ避難してください。

安家川河口			
最大津波水位 (T.P,m)	影響開始時間 (±20cm)	第1波	最大波
15.4	15分	35分	40分

※地震・津波と土砂災害、洪水で指定緊急避難場所が異なる場合があります。

●凡例

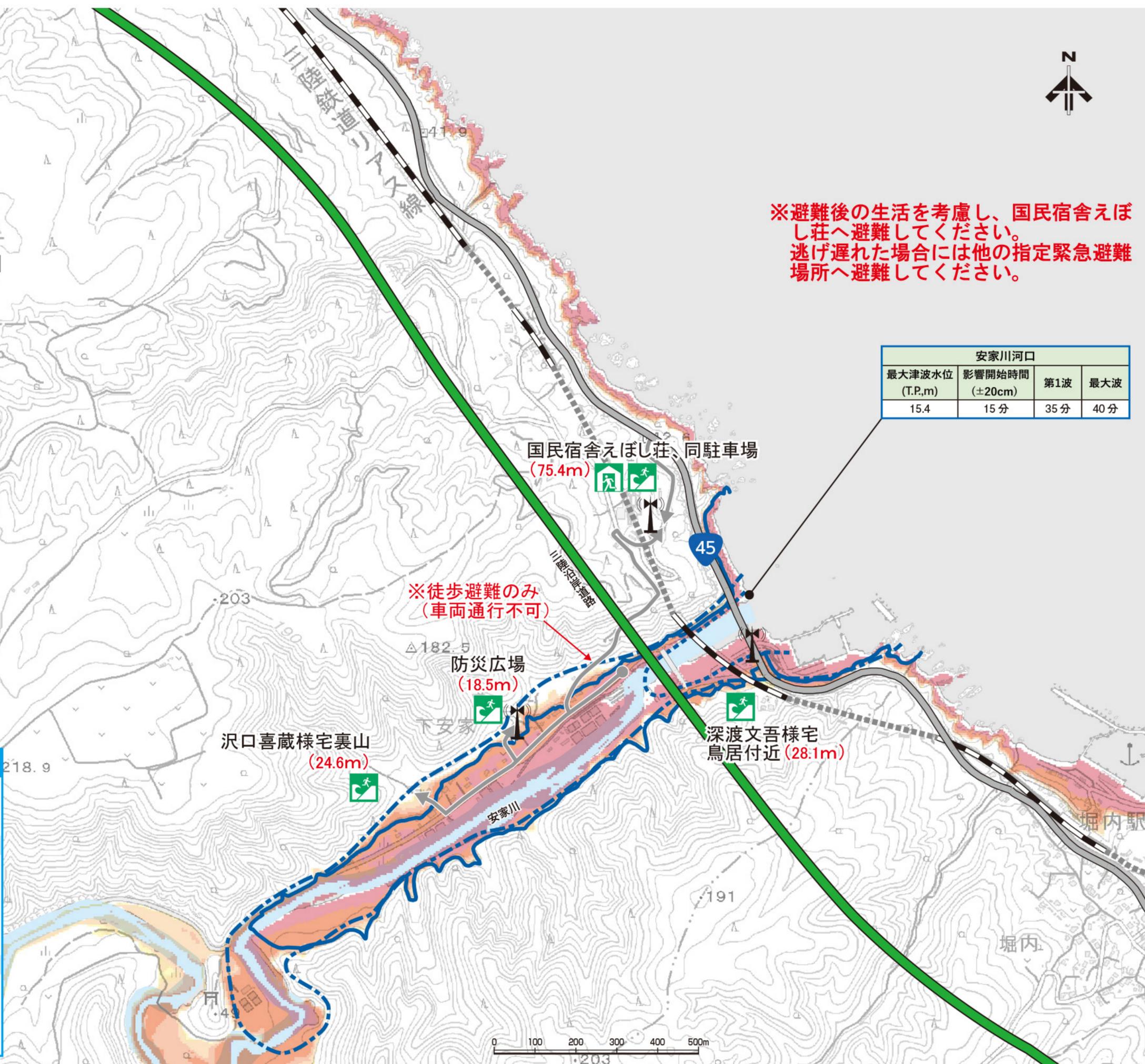
- 指定緊急避難場所(津波) (標高〇〇m)
- 指定避難所
- 避難経路
- 防災行政無線

津波浸水区域(実績)

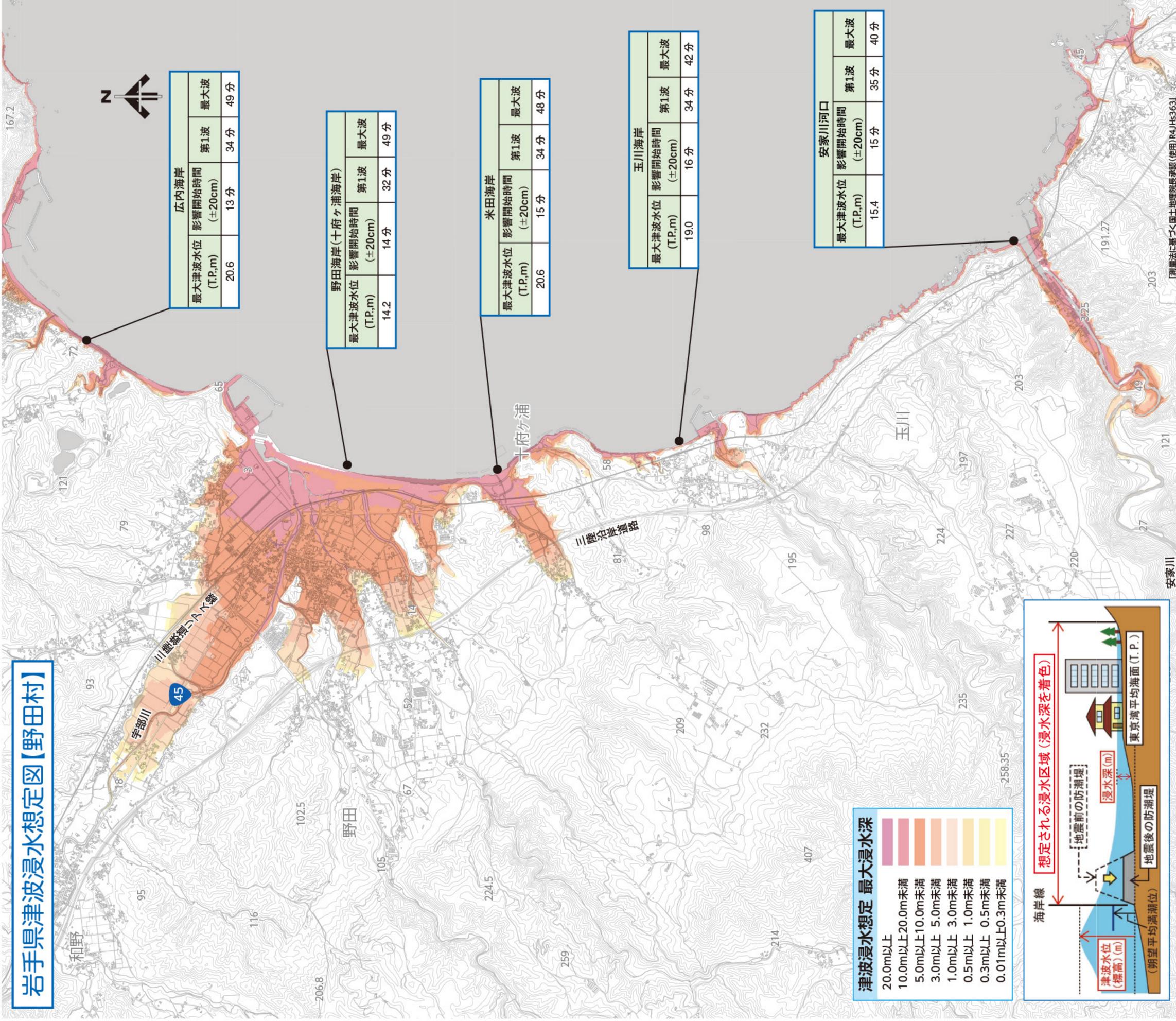
- 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)(2011年)  
※「東日本大震災津波被災市街地復興実態調査」、税務課資料より
- 昭和35年チリ地震(1960年)  
※「野田村津波防災マップ(平成9年)」より
- 明治三陸(1896年)、または昭和三陸地震(1933年)  
※「野田村津波防災マップ(平成9年)」より

津波浸水想定 最大浸水深

20.0m以上		1.0m以上 3.0m未満	
10.0m以上20.0m未満		0.5m以上 1.0m未満	
5.0m以上10.0m未満		0.3m以上 0.5m未満	
3.0m以上 5.0m未満		0.01m以上0.3m未満	



# 岩手県津波浸水想定図【野田村】



- ◆「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- ◆「津波浸水想定」は、**最大クラスの津波が悪条件下(各種構造物の地震による沈下や津波越流による破堤)において発生した場合に想定される浸水区域と浸水深を表したものです。**
- ◆**最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したもので、「発生頻度は極めて低いもの、甚大な被害をもたらす津波」であり、数百年から千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低いものですが、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。**
- ◆「津波浸水想定」の浸水区域や浸水深は、「なんとしても人命を守る」という考えの下、避難を中心とした津波防災地域づくりを進めるためのものであり、津波による災

- ◆**害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。**
- ◆**浸水区域や浸水深は、津波の第1波ではなく、第2波以降に最大となる場所もあります。**
- ◆**局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水区域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。**
- ◆「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
- ◆今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性ががあります。

参考：岩手県ホームページ (https://www.pref.iwate.jp/kendozukur/index.html) /kaigan/1038410/1053312/index.html



# ● 災害時の連絡方法

## 【「171」災害用伝言ダイヤル】

- 「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行ってください。
- 登録できる電話番号は、被災地の方の加入電話、ISDN、ひかり電話、携帯電話、IP電話になります。
- 災害発生に備えて事前に体験利用ができます。⇒



## 【携帯電話の災害用伝言板サービス】

- それぞれの携帯電話の「**トップメニュー**」から「**災害用伝言板**」または「**災害用安否確認**」を選択してください。(スマートフォンでは事前にアプリケーションのダウンロードが必要な場合もあります)
- フェイスブックやツイッターでも、災害用伝言板を利用することができます。

## わが家の防災メモ (地震・津波)

わが家の指定緊急避難場所	
わが家の指定避難所	
わが家の集合場所	
緊急時の連絡先	
かかりつけの病院	

家族の名前	生年月日	血液型	持病や常備薬	携帯電話 会社・学校の連絡先

## 防災関連機関連絡先

野田村役場	78-2111	久慈消防署	53-0119
久慈消防署野田分署	78-2119	久慈警察署	53-0110
久慈警察署野田駐在所	78-2161	岩手県立久慈病院	53-6131

令和4年12月発行



野田村 総務課  
〒028-8201 岩手県九戸郡野田村大字野田 20-14  
TEL : 0194-78-2111 FAX : 0194-78-3995